



校訓

「夢を持って歩み続ける」

陽光(さん)

令和7年12月24日 第18号 文責 梶原 圭一



後期前半を振り返って

58日間の後期前半が終了しました。この間も本校の教育活動に対して、ご理解並びにご協力いただいた保護者、地域の方々に深く感謝申し上げます。後期前半は、見学旅行や5年生の集団宿泊教室、6年生の修学旅行と、子どもたちが楽しみにしていた行事があり、思い出深い期間となったことでしょう。また、10月の人権月間をはじめ、熊本県及び菊陽町の人権子ども集会への多数の参加などを通して、自分を大切にするように相手の立場に立って物事を考え、思いやりをもった言動を大切にすることを学んだ期間でもあったと思います。さらに、児童会の頑張りにより、学校教育目標の実現に向けた様々な取組を企画・実行してくれました。学校の創り手として成長してくれていることに喜びを感じています。後期後半も子どもたちと共に、「笑顔あふれるみんなの学校」を目指して、駆け抜けていきたいと思っています。



子どもたちが提案する町の未来とは…

今年で3年目になる「町の未来発表会」が行われ、6年生の代表グループが町長や教育委員会の方々に町の未来を提案しました。また、中学校区の6年生教室をオンラインでつなぎ、互いの提案を視聴し合いました。本校では、当日に学校運営協議会の方々をご案内し、発表の様子を直接見ていただきました。どのグループも課題と根拠をしっかりと整理してまとめ、分かりやすくプレゼンテーションできていることに驚きました。学校運営協議会の方々からも、子どもたちの夢の実現に向けて、しっかり応援していきたいという言葉いただきました。この取組により、ふるさとにより関心をもち、ふるさとを愛する心につながってくださることを願っています。



菊池地域「森づくりの集い」植樹式・木工教室

12月16日(火)に、菊池地域「森づくりの集い」が本校で行われました。この事業は、社会全体で森林を支えていく意識をもち、緑化運動を推進するために菊池地域みどり推進協議会と菊池郡市の市町が共催して毎年実施されています。多くの来賓の方々をお迎えして行われた式典では、6年生の代表が「郷土の自然や木材に触れ合うことで、豊かな森づくりに貢献することを学んでいきたい」と誓いの言葉を述べました。また、この取組を記念して、運動場南側にハナミズキを2本植樹しました。年月を重ねることで美しい花を咲かせ、子どもたちの学校生活に彩りを与えてくれるものとなることでしょう。その後の木工教室では、多くの方々の支援を受けて、6年生一人一人が立派な本棚を作り上げました。



新年がよい年でありますように！

今年もOB会や地域の方、多くのPTAサポーター、そしてボランティアで参加した子どもたちの協力により、本校玄関に立派な門松を設置することができました。休日の寒い午前中の作業ではありましたが、それぞれが楽しみながら門松を作り上げていく様子が印象的でした。参加した子どもたちも、竹を割ったり切ったりして、大活躍でした。完成した門松を見ながら、新しい年が近づいてきていることを実感するとともに、子どもたちと本校に関わるすべての方々にとって、来る年が素晴らしい1年となることを心から願っています。



【お知らせ】 明日から子どもたちが楽しみにしていた冬休みが始まります。休日や学校が閉庁しているときに、緊急な連絡が必要な場合(大きな事故やケガなど)は、各学年の「冬休みの暮らし」に記載しています。菊陽町公用携帯番号に連絡をお願いします。その情報が学校関係者に伝わるようになっています。